

いちかわ

市議会だより

市川市議会は毎年2月、6月、9月、12月に定例会を開きます。市議会だよりは5月、8月、11月、翌年2月に各定例会号を発行(新聞折り込み)し、審議内容をお知らせしています。



頌春

平成三十一年 己亥

時代の節目、諸課題解決に不断の決意で取り組む

市議会議長 竹内 清海
市議会副議長 堀越 優

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、平成31年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より本市の市政運営並びに市議会活動に対し温かいご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

思い返しますと昨年は、西日本に多大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」や、北海道胆振東部や大阪府北部で発生した大きな地震など、全国で災害が相次いだ年でありました。

一方、2月から開かれた平昌オリンピック・パラリンピックにはじまり、サッカーW杯ロシア大会で決勝トーナメント進出を果たした日本代表チーム、テニスの四大大会の一つである全米オープン女子シングルスで日本勢初の優勝を成し遂げた大坂なおみ選手など、世界の舞台で活躍する日本選手の姿は、見ている我々に大きな感動と活力を与えてくれるものでした。

また、市内においては、昨年6月、東京外環状道路の千葉区間が、昭和38年に最初の計画が示されてから55年の歳月を経てついに開通したことにより、平成29年に全線開通した都市計画道路3・4・18号と併せ

て、市内南北交通の利便性の向上や渋滞緩和に大きな効果が現れております。こうした基幹道路交通網の変化を本市の更なる発展へのチャンスととらえ、市民生活に豊かな果実をもたらすことが求められます。

さて、本年は平成最後の年であり、5月1日には皇太子殿下が新たな天皇に即位されます。一つの時代の節目を迎える我が国の社会情勢については、経済が引き続き緩やかな回復を示しているものの、地方でそれを実感するにはまだ至っておりません。他方、待機児童問題や社会保障制度改革、頻発する災害への対応などの諸課題や不安要素は引き続き社会に山積しております。加えて、超高齢社会、少子化、格差の問題など、本市を取り巻く状況は今後益々厳しいものになると見込まれます。

これら諸課題の解決のため、我々市議会は、議員一人ひとりがその使命と責任を果たし、日々研鑽して高い見識を養い、不断の決意をもって取り組んでまいります。市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりましてより美りのある飛躍の年となりますよう、衷心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

平成31年 会派の抱負



市議会では会派制をとり、議会活動を行っています。ここでは、新年を迎える各会派の抱負を掲載しました。なお、掲載位置は抽選により決定しました。また、文字数は所属議員数によって異なります。

「責任会派」の姿勢を貫く

創生市川第3

荒木 詩郎 松永 鉄兵 稲葉 健二

新春のお慶びを申し上げます。昨年も七月豪雨や大阪府北部地震など多くの災害が発生し尊い人命が失われましたが、市民生活の安全・安心を確保することが地方自治体の最大の責務であると考え、安全・安心の地域社会、明るい豊かな市民生活を築いてまいります。市川市においても少子・高齢化社会が進行する中、将来を担う子どもたちのための事業、高齢者のための事業をはじめ、都市基盤整備、医療福祉、環境、教育など市民の皆様の生活に密着した施策への取り組みを進めます。私共「創生市川第3」は、財政事情が厳しい中でも将来に向け必要な事業は着実に実行しつつ、税金が無駄に遣われることのないように努力する「責任会派」の姿勢を貫いてまいります。本年が皆様にとって幸い多き年となるようお祈り申し上げます。

「大衆とともに」を原点に 市民に寄り添い新たな時代切り開く

公明党

西村 敦 中村よしお 久保川隆志
浅野 さち 宮本 均 大場 諭
堀越 優 松葉 雅浩

近年、想定を超える大規模な自然災害が激甚化、多発化しています。昨年は「災害」ともいえるような尋常ではない猛暑に見舞われただけでなく、大阪府北部地震、西日本豪雨、台風21号、24号、北海道胆振東部地震といった自然災害が相次いで猛威を振るいました。公明党は「防災の党」として「生命・生活・生存」を最大限に尊重する人間主義を掲げ「命と暮らしを守る防災・減災対策」をより強力に推進するとともに、万全の備えと一人一人の防災意識の強化に取り組んでまいります。また、急速な少子高齢化への対応、老朽化が進む公共施設の更新など多大な財政負担が想定されることから抜本的な行財政改革に取り組んでまいります。公明党は「大衆とともに」の立憲精神から出発し、市民に寄り添う対話の中で市民が何に悩み、何を望んでいるのかを探り、その解決に向けて制度・政策を練り上げていくとの行動原理を貫き、市民が希求する新たな時代を切り開いてまいります。今年一年間の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

災害に強いまち・いちかわの実現を

創生市川第1

加藤 武央 田中幸太郎 岩井 清郎

本年の抱負は震災に強いまちについて改めて見直し、市民の安全を守る災害に強いまちづくりを最重点として取り組むことにお約束します。近年、大規模地震や豪雨による土砂災害など、甚大な被害を及ぼす自然災害が日本列島を襲っています。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。日本では、マグニチュード7クラスの直下型地震がいつ起きてもおかしくない状況であり、また、台風は非常に強い勢力を保ったままこれからもたびたび日本列島を襲うことが予想されます。人口が48万人を突破し、また増加が見込まれる市川市です。更なる住みやすい住宅都市を目指すとともに、災害に強いまち・いちかわの実現に向けて、皆様から寄せられた声を改めて精査し、危機管理体制強化に向けて支援してまいります。

暮らし、福祉、命が 守られる市川市政をめざして

日本共産党

清水みな子 高坂 進 金子 貞作
廣田 徳子 桜井 雅人

新しい年を迎えましたが、皆さんの暮らしはいかがでしょう。第4次安倍改造内閣が発足し、10月からの消費税10%への引き上げなど、国民の暮らしは疲弊しています。憲法改正も声高に叫んでいます。市民の要望をお聞きするため、日本共産党市議団は、毎年市政アンケートに取り組み、議会で取り上げ、予算要望として反映させていただいています。アンケートでも半数の方が「暮らしが苦しくなった」と答え、「年金下げないで」「国保税、介護保険料、公共料金を上げないで」「暮らしにくい」などの声がたくさん届いています。昨年4月、「市民と野党の共闘」で誕生した村越祐民市政は、公約であった公民館など公共施設使用料を4月から引き下げます。また、子ども医療費の所得制限撤廃も拡大されました。村越市長の公約実現へ、市民の皆さんの暮らし、福祉、命が守られる市川市政をめざして、ともに力を尽くしてまいります。

やさしさと活力あふれる まちづくりを目指します

無所属の会

長友 正徳 増田 好秀 湯浅 止子
秋本のり子 越川 雅史

明けましておめでとございます。私たち「無所属の会」は、価値観が多様化し、社会問題が複雑化する中で、政党の枠にとらわれず、リベラリズムの立場から、やさしさと活力あふれるまちづくりを目指して、是々非々の精神で、執行機関に対する監視と提案を行っています。少子高齢化や格差・貧困の拡大といった未曾有の経済社会問題が顕在化する中で、保育園待機児童や特別養護老人ホーム待機高齢者を解消するとともに、社会保障の拡充を図ることにより、やさしさあふれるまちづくりを目指します。また、良質な雇用の創出、域内総生産の増加、地球温暖化の防止、新産業の創出等を視野に入れつつ、農水産業や商工業を振興するとともに、再生可能エネルギーの利用を推進することにより、活力あふれるまちづくりを目指します。誰も置き去りにしない、みんなのための政治をモットーとして、市民の福祉の増進のために今年も奮励努力して参ります。

議員の寄附や年賀状は 公職選挙法で禁止されています

議員は、お祭りへの寸志、スポーツ大会の差し入れ、近所へのお祝いなどの寄附をすることや、年賀状等の時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことが公職選挙法で禁止されています。
また、議員に対する寄附の勧誘・要求も禁止されています。

誰もが希望の持てる社会の構築を

創生市川第2

松永 修巳 鈴木 雅斗 金子 正

平成からは流れ、歴史も新たな時を迎えます。市政では市長の交代で解決が急がれる行政課題が山積しています。待機児童・ゴミ問題・使用料・災害対応は喫緊の課題として捉え、我々議会人はその職責を全うして前へ進めねばと肝に銘じています。
一方、昨年は外環道の開通により、市内交通の要として、渋滞の解消が図られ、経済、防災活動にも大きな役割を果たすものと期待が寄せられています。
さて四月に統一地方選挙を控え、私達は社会的に弱い立場にある子供・女性・障がい者・高齢者に光をあて、全ての市民が希望の持てる社会の構築に会派をあげて取り組んでまいります。
来年度完成する新庁舎として東京五輪・パラリンピックの成功にも市民の皆様と夢を共有し、安全安心な市川市づくりに邁進してまいります。

新市長の市政に対し 是々非々のスタンスで臨む

清風会

松井 努 片岡きょうこ 石原みさ子
青山 博一 竹内 清海

新年、明けましておめでとうございます。国を取り巻く状況は大変厳しく、世界の動向を注視していかなければなりません。社会保障制度をはじめ、少子高齢化の中で、我が国は困難な時代を迎えております。お陰様で市川市は、財政が安定しており健全な市政がなされております。しかしながら国からの地方交付税はなく、市民からの多くの要望を実現するために、清風会は日々取り組んでいます。保育園の建設、介護施設の建設、教育の充実、公共施設の建て替え、道路の整備、河川の改修、福祉の充実等全ての事を、行政と市議会が一体となって頑張っていかなければなりません。清風会は女性議員2名、男性議員3名で切磋琢磨しております。今後は、新市長が4年間市政を担当しますが、我が会派は是々非々のスタンスで活動をして参ります。結びに、市民の皆様のご多幸をご祈念申し上げます。

新しい時代の到来に向けて 全力で取り組む

自由民主党

中山 幸紀
ほそだ伸一
佐藤ゆきのり
かいづ 勉

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は、計画から50年以上の年月を経て首都圏の大動脈ともいえる東京外かく環状道路がようやく開通いたしました。外かく道路の開通により、地域間における人とモノの交流が活性化し、新たな経済活動・生活空間の創出が期待できます。

一方、待機児童や介護問題などの福祉政策や台風・地震などの自然災害時の危機管理は依然喫緊の課題であり、今後も迅速かつ的確な対応が不可欠です。
また、今年、新天皇(即位)に伴う御代がわりの年でもあり、元号も平成から新しい元号になります。私たちが会派自由民主党は、一刻と変わりゆく生活環境と社会情勢をしっかりと把握し、新しい時代の到来に向けて、誰ひとり取り残すことのない社会を目指し、国、県と連携しつつ、市民のための政策の立案・運営に全力で取り組んでまいります。

生活者、労働者の目線で市政の発展を

新しい流れ

かつまた竜大 西牟田 勲 佐藤 義一

新年あけましておめでとうございます。
昨年は、新しい市長が誕生し市川市政にも変化の兆しが生まれた年でした。市民の皆様方も何かとお世話になりました。ありがとうございます。ありがとうございます。
我々の会派の名称も「新しい流れ」に変更致しました。市川市のキャッチフレーズに因んでいます。本市から新しい社会の仕組みを作っていく、という決意を込めたものです。
会派の所属議員は、特定の団体や企業などのしがらみにとらわれることなく、生活者、労働者の目線で市政の発展を期するという価値観を共有しています。本年も軸をぶらすことなく、この素晴らしい市川市を後世に引き継ぎ、日本一魅力的な街とするため、日々研鑽に努め、活動してまいります。
本年もご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

市川未来50年の会

大久保たかし

寄与 市政の発展に
明けましておめでとうございます。
本年も昨年同様市民の皆様の声をよく聞き市政の発展に寄与して参ります。

市民の力

石原よしのり

政に 市民の声を市
里見公園分園の桜を守ったのは一斉に声を上げた市民の力でした。市民が輝く市川に。市民の声を市政に。今年も頑張る参ります。

市民市政

星けんたろう

橋渡しを 市民と市政の
明けましておめでとうございます。市民と市政の橋渡しを目指し、行政および政治のAI・ICT化など今年も努力して参ります。



市川市議会 定例会 のながれ

市議会

本会議



本会議では、提出された議案について、市長が提案説明を行います。また、2月定例会では市長が新年度の施政方針を述べます。

【代表質問】

市川市議会では、議員が所属する会派ごとに、その代表者が議案の内容や市長の政策などについて質問を行う代表質問制をとっています。

代表質問が終わると、議案は内容ごとに所管する委員会に付託され、委員会で詳細な審査が行われます。委員会が開かれている間、議会は休会します。

定例会は年4回開かれ、市長が招集日時を告示し、議会に議案を提出します。

招集告示

市長



議案

議案の提出は市長の重要な権限の1つで、条例案のほか、予算案、決算案、重要な契約や副市長などの人事に関する議案などがあります。

請願

請願は議員の紹介を経て提出される住民の要望などをいいます。提出された請願はその内容に応じて所管する委員会に付託され、審査されます。

市民など



審議・審査の過程で、議員は市長提出の条例案や予算案を修正することもできます。

委員会付託

委員長報告

委員会

総務

健康福祉

常任委員会

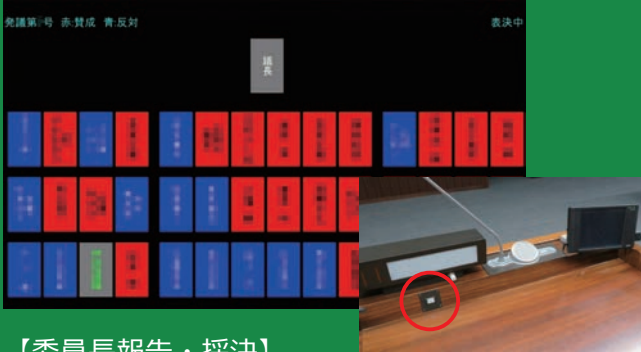
環境文教

建設経済

市川市議会には4つの常任委員会があり、所管事項に応じて付託された各議案について詳細に審査します(決算案については、決算審査特別委員会を設置して審査を行います)。

委員会では質疑の後に採決を行い、可決すべきか否かを出席委員の多数決で決定します。

本会議



【委員長報告・採決】

委員会での審査結果は、本会議で委員長から報告され、その後、討論(議員が自己の考えを述べる)、採決へと進みます。採決は原則として出席議員の多数決で行い、市川市議会では賛成の場合にボタン(上右写真の赤丸囲み)を押す電子表決を導入しています(上左写真、赤が賛成、青が反対)。表決には議長は加わりません(上左写真で灰色)が、可否同数となったときは、議長が可否を決定します。

【一般質問】

一般質問は、市政一般について、執行機関の考えを議員がたずめるものです。目下の地域課題や将来の市全体の姿など、その範囲は多岐にわたります。

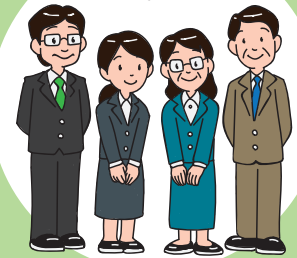
【発議案】

市川市議会では、議員発議は原則として会期の最終日に審議・採決を行います。

発議

議案等は議員が提出することもでき、これを発議といいます。条例案のほか、議会の意思を示す決議・意見書案などがあります。

議員



条例

公布
施行

予算

執行

意見書

国・県
などに
提出

○平成31年定例会開会予定日○

2月定例会	2月18日(月)
6月定例会	6月14日(金)
9月定例会	9月6日(金)
12月定例会	11月29日(金)

※定例会が開会される見通しの日程であり、事情により変更される場合があります。